



2016.3.31 VOL.124



もくじ

- | | |
|------------------------|---|
| 1 関東ブロック会長会報告 | 8-10 各地区の今年度活動報告 |
| 2-3 特集 関東ブロック研究大会(茨城県) | 10 県内ホット情報・県西地区豪雨災害について |
| 4 関東ブロック研究大会(横浜市)の報告 | 11 広報紙の作り方研修会・書き損じハガキ回収活動の結果報告・茨P連定期総会の案内 |
| 5 茨城県PTA振興大会・表彰式典の報告 | 12 茨P安・茨P基金・編集後記 |
| 6-7 女性ネットワーク委員会研修会報告 | |

茨城県PTA連絡協議会

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号
 電話：029-227-4779 FAX：029-231-3878
 E-mail：webmaster@ibarakiken-pta.ne.jp
 ホームページ：http://www.ibarakiken-pta.ne.jp
 編集：同 広報委員会

茨城の地に関東ブロックのPTA会長が集結！ 第48回日本PTA関東ブロック 研究大会の成功に向けて協力確認！！

関東ブロック会長会報告

平成28年1月29日(金)雪のちらつく中、水戸市三の丸庁舎にて関東ブロックPTA協議会会長・事務局長合同会議が開催されました。関東ブロックは茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・新潟市・長野県・埼玉県・さいたま市・千葉県・千葉市・神奈川県・横浜市・川崎市・山梨県・静岡県の計15団体で構成されています。今年の茨城大会に向けて各会長の皆様に参加人数の確認と分科会の割り振りをご検討いただき、参加人数について了解をいただきました。

これで県外より1,000名、県内より1,500名の合計2,500名での開催となります。また、当日は、茨P連の副会長の皆さん、互助会の石井理事長、重藤



関ブロ旗の前で

関ブロ実行委員長にも参加いただき、協議会会長、事務局長の皆様と意見交換のできる素晴らしい出会いの場となりました。



幹事県である佐藤会長のあいさつ



関東ブロックPTA協議会役員

(茨城県PTA連絡協議会 会長 佐藤 秀行)



特集 第48回日本PTA 関東ブロック研究大会 茨城大会

大会スローガン

歴史と未来が息づく常陸国から 伝えたい願い 伝わる想い
～愛する子どもたちへ贈るメッセージ～

全体会は、10月22日（土）ひたちなか市総合運動公園総合体育館にて開催されます。

当日は、常陸大宮市立大宮北小学校こども歌舞伎の児童の皆さんによるアトラクション、そしてTV（世界一受けたい授業）などでお馴染みの西成活裕氏による記念講演を行います。



どちらも茨城を代表する方々で、正に茨城らしい「歴史と未来が息づく全体会」となるでしょう。



ひたちなか市総合運動公園体育館

私たち実行委員会は、運営に対する課題もたくさんありますが、県内外より多数の皆様が集まり、皆で子どもたちの未来を考える大会がここ茨城で開催されることに今からとてもワクワクしています。ぜひ茨城県PTAのさらなる結束のためにも多くの方に参加いただき、素晴らしい全体会になりますようお願いしておりますのでよろしくお願いいたします。

（全体会部 部会長 草野 宏）

「愛」を伝えるメッセージ ～人とのつながりを深め、親も子も育ちあうために～

第5分科会
家庭教育
女性ネットワーク委員会



ワークプラザ勝田

第5分科会は、女性ネットワーク委員会が運営させていただきます。女ネットならではの柔軟性とフットワークの軽さを生かし、毎年県の研修会でお世話になっている大洗町P連の皆様のご協力をいただきながら、取組ませていただきます。

内容は家庭教育について、女ネット委員会を取り入れているワークショップ型の研修をいたします。参加型の研修は、自分を振り返る機会や自己表現をする場面があり、何よりの自己研鑽になるのではないかと考えます。この度の関東ブロック大会においても、県内外でPTA活動をする多くの人



との交流を通して、自分の子育てや学校PTAの振り返りをしながら、新たな方向性を見出せる研修になればと考えています。

そして、ファシリテーターとして、常磐大学大学院心理臨床センター教授の秋山邦久先生をお迎えします。話して楽しく、聴いて楽しみな、充実した内容になっておりますので、どうぞ奮って第5分科会へご参加いただきますようお願いいたします。

（運営委員長 井口 理恵）



「地域のたから」へのメッセージ ～子どもたちを中心とした社会のつながりを考える～

第6分科会
地域連携
県東地区



大洗文化センター

子どもたちにとって地域は、社会のルールや思いやりの心を育む大切な学びの場です。しかし、地域力の低下が叫ばれております。私たちは愛する「家族」や「地域」そして、未来を担う「地域の宝」のために今、何ができるのでしょうか？時代は目まぐるしく変わり、その時代にあった社会との「繋がり方」が必要とされています。そのためにも私たちは、熱い気持ちと仲間を思いやる心を胸に「大人の背中」を子どもたちに感じてもらう必要があります。



さあ～!! 今一度「地域の宝」である次世代を担う子どもたちに、何ができるかを私たちと一緒に考えましょう。

(運営委員長 山本 主税)

「未来」へつなぐメッセージ ～いま考える子どもたちの道徳心～

第7分科会
情報モラル
県西地区



ひたちなか市文化会館大ホール

平成28年10月21日(金)に向けて私たちは、これまで勉強・話し合い等含めた準備をしてきました。我々の先輩もたくさん在籍している茨城県メディア教育指導員連絡会の方から勉強する機会をいただいたり、埼玉県の中学校にお伺いして講演を聞いた後、中学生の実情を先生方から聞いたり、文科省でも活躍されているネット教育アナリストの方、教育委員会・茨城県警少年課の方たちと話をさせていただき機会もいただきました。



そこで、とてもショッキングで、テレビの中のフィクションでしかないと思っていたことが身近で普通に起き、それが子どもたちの

将来を奪うほどの消えない傷になることや分かりにくくなってきた人間関係の問題を知ることができました。

そんな中で感じたのが、これからも進化する機器やアプリの対策も大切ですが、我々PTAにとってもっとも大事なことは、子どものことを常に考え続けることや家庭のあり方が大事だということです。

まずは研究大会にかかわりまた参加することで、もう一度家庭を振り返り考える契機になればと考えています。ぜひ多くの方にお越しいただき、子どもたちが安心して健やかにすごせる環境を一緒に考えたいと思います。

(運営委員長 小森谷 秀明)

「世界」へのメッセージ ～わたしたちができること～

第8分科会
国際理解
県内地区



茨城県立県民文化センター大ホール

第8分科会では、「国際理解」をテーマに分科会を行います。

県南地区PTA連絡協議会では、何度も話し合いを行い、「想い出のランドセルギフト」という事業を展開することとなりました。

アフガニスタンの子どもたちにランドセルを贈り、教育の機会に恵まれない子どもたちの就学のために役立てもらう活動です。親子で世界の現状を知り、目を向ける機会になればと思い活動しています。



今回の茨城大会に携わり、子どもたちが将来「ランドセルを贈った」「ランドセルを貰った」等の会話をしている光景が見られる世界であってほしいと心より願います。

ぜひ第8分科会に足をお運びいただき、よりよい研究大会にしましょう。

(運営委員長 木村 光広)



第47回関東ブロックPTA研究大会 横浜大会 参加報告

大会スローガン【知・徳・体・公・開】 想いをつなぐ教育文明開化
～子どもたちと見すえる未来への船出～

関東ブロックPTA研究大会横浜大会に参加して

いよいよ今年に迫る「関東ブロックPTA茨城大会」視察のために一昨年は「さいたま大会」そして昨年は「横浜大会」へ行ってきました。

初日の分科会は、わが中央地区より水戸市立第四中学校代表の矢口みどりさんが「よくしたい」を合言葉に、学校や生徒たちを守ろうと保護者の方々も一緒になって活動したことを発表するため、同地区より多くの方が参加しました。他の参加者も興味深く聴いていました。講演の日本理化学工業株式会社の会長である大山泰弘氏が、従業員に知的障害者を7割雇用しながら企業を成功させた工夫や彼らの親切さを活用して班長制度を設けたことなど、大山氏の考え方にとても共感を持ち感動しました。二日目の全体会では、記念講演の菊池桃子氏が客員教授として戸板女子短期大学で



全体会で茨城大会をPR

教えている「キャリア教育」をととてもわかりやすい講演で、少し学生気分になったような時間でした。

全体会の最後には、茨P連の代表がステージ上とステージ前で次回の「茨城大会」へどうぞ来てくださいと旗を振り、呼びかけました。

茨城大会に来ていただいた方が喜んでいただけるよう、ぜひ皆さんでおもてなしをしましょう。

(茨P連広報委員 萩原 佐江子)



取り組みを紹介する矢口みどりさん

関東ブロックPTA研究大会横浜大会に参加して

快晴の午後、第6分科会は異国情緒の薫る横浜市開港記念会館にて「「開」国際社会に寄与する開かれた心」をテーマに開催されました。

研究発表は、つくば市PTA連絡協議会の「ランドセルは海を越えて～つくばからアフガニスタンへ～」でした。この事業は、卒業生有志のランドセルを教育の機会に恵まれないアフガニスタンの子どもたちに寄贈するものです。2014年度は実に450個が贈られました。



実践発表をする海老澤裕之さんと後藤秀一さん

発表は、海老澤裕之さん、後藤秀一さんの語りとスライドにより行われ、すぐに引き込まれました。特に、子どもたちのランドセルが横浜港から出港し、長旅を経て、異国の青空教室で子どもたちに背負われる映像を見たとき、こみ上げてくるものがありました。当の子どもたちであれば、なおさらでしょう。

ランドセルを手放すことで、子どもたちは世界とつながる経験をし、多くを学びました。大会テーマ「子どもたちと見すえる未来への船出」を象徴するプレゼンテーションに、万雷の拍手が送られました。

(茨P連広報委員 畠山 佳樹)



平成27年度茨城県PTA振興大会 in 取手

11月21日(土)平成27年度茨城県PTA振興大会が取手市民会館で開催されました。

オープニングアトラクションでは、取手市立取手第二中学校空手道部による、型、組手の演武が披露されました。会場が緊張感で包まれ迫力のある演武に会場の皆さんから喝さいを浴びていました。

記念講演は、株式会社こうゆう・花まる学習会の松島伸浩氏。演題は「わが子を『メシが食える大人』にする思春期の子育て」でした。松島氏は、子育てのゴールは「自ら考えて行動できる人間=自立した大人」に育てることという信念のもと、親の役目として子どもに挑戦



取手第二中学校の演武



講演をする松島伸浩氏

する機会を与えること、大人の話素直に聞ける「聞く力」を養うこと、そして自立心を育むために、見つめて、見守り、認めてあげることが必要であることを、過去25年、1万件以上の受験相談や教育相談の経験に基づき90分の講演を行いました。講演の最後に、子育てに関わる時間は長いようで短いものであり、心配や苦労は絶えないが、巣立つ日がくるまで、家族で楽しい思い出をたくさん作ってくださいと話されていたことが印象的でした。

また、家庭教育実践集「愛の記録」から水戸市の多田厚史さんの「朝ラン活用術」の朗読です。父親として息子とのコミュニケーションの方法がわからず、疎遠になりがちでしたが、早朝のランニングを通して、会話の全くないランニングから日々の継続の中で、思春期の息子との会話が生まれ、対話から息子の成長を感じ取り、親としても共に成長していることを教えられた素晴らしい内容でした。

今年も大いに盛り上がった振興大会。参加した皆さんの単位PTA活動振興の一助になれば幸いです。

来年の振興大会は、第48回日本PTA関東ブロック研究大会の茨城での開催にともない表彰式典のみ開催となります。関ブロ茨城大会に向け皆さんのご協力をお願いいたします。

(茨P連広報委員：野中 浩)

平成27年度 茨城県PTA振興大会 表彰式典 in 水戸



表彰式典の様子

平成27年12月5日(土)、ホテルレイクビュー水戸において「平成27年度茨城県PTA振興大会表彰式典」が開催されました。県内より多くの方にご参加をいただき、家庭教育実践事例集「愛の記録」の受賞者の青木寿美さんによる「流は万流だから我が家流」の朗読をいただきました。

表彰式典に臨む受賞者の誇らしげな姿がとても輝いていました。

おめでとうございます。



朗読をする青木寿美さん



平成27年度女性ネットワーク委員会研修会報告

新しい形の研修会で 活発な意見交換!!



「人とのつながりを深め、親も子も育ちあおう！」 ～家庭・学校・地域とともに～

今年度、女性ネットワーク委員会では、参加者が皆で考えて全員が発言できる、少人数での話し合い形式の研修会を進めてきました。参加した会員から「子育ての仲間と話せて共感できた」「時間が足りないくらいに楽しかった」という感想をいただき、ほっとすると同時に、各地区や学校にもこの取り組みを広げていき、仲間づくりに役立てて欲しいと願っています。

平成28年度の関東ブロック茨城大会第5分科会では、各県の方々との意見の交換がとても楽しみです。現在は、関東地区のPTA会員の皆さんをお迎えする準備をしています。県内の皆さんの力を結集して、関ブロを成功させましょう！ご協力をよろしく願いたします。

(茨P連女性ネットワーク委員長 黒田 さえ子)



「今のあなたでいい親も子も・・・～信頼そして絆へ～」 中央地区

10月18日(日)常磐大学において中央地区4ブロック研修会が行われ、女性ネットワーク委員会も分科会を持ちました。45名が集まり、その中には男性の保護者も数名おりました。2つのテーマを持ち6名でグループディスカッションを行いました。



中央地区女ネットの皆さん

初の試みであるアイスブレイク(緊張を解きほぐす手法)を取り入れ、1分間の自己紹介タイムを作り、聞いている方はその方の第一印象をカードに書きました。各グループに1名の女ネット幹事さんに入っただき、ディスカッションもスムーズに流れ、どのグループも直ぐに打ち解けてとても賑やかでした。分科会後は、受け取った印象カードを手に、皆さんがにこやかに、帰られました。この笑顔が各家庭に繋がることを祈りながら見送りました。とても心地のよい研修会でした。

(中央地区女性ネットワーク委員長 萩原 佐江子)

「子どもとふれあおう 深めよう “家族の絆”」 県北地区

平成27年度県北女性ネットワーク委員会では「子どもとふれあおう 深めよう “家族の絆”」をテーマに掲げました。



講師と県北地区女ネットの皆さん

家庭の中から絆を深めていき、学校さらには地域へと繋がりが深まっていければと思い、その手段としまして「子どもが作る弁当の日」を継続事業としております。弁当を作ることが目的ではなく、食育を通して子どもとのコミュニケーションを大事にし、その形として「子どもが作る弁当」という形になればと思っております。

今年度は、キューピー株式会社による企業講演会を開催し、食をテーマにしたお話の中から、各家庭または各PTAに持ち帰っていただき、コミュニケーションツールの一つとして、役立てていただけたのではないかと考えております。

(県北地区女性ネットワーク委員長 鈴木 治子)



「家庭・学校・地域と一緒に、親も子も育ちあおう！」

県東地区

10月17日(土)茨城県鹿行生涯学習センター・茨城県女性プラザ(レイクエコー)において、第2回県東地区女性ネットワーク委員研修会が開催されました。



講演をする安のり子氏

第1部は、親業訓練協会インストラクターの安のり子氏による「女性のライフステージに合わせた子どもとの向き合い方」という演題で講演をしていただきました。「親の役割とは？」をテーマに、10人ほどのグループでのディスカッションの時間もあり、様々な意見を共有することができました。

第2部は、現役教師姉妹によるヴァイオリンとフルートのミニコンサート。聴きなれた曲で思わず口ずさんでしまうほどリラックスができ、日ごろの疲れを癒してもらえました。

(県東地区女性ネットワーク委員長 田上 秀子)

「人のつながりを深め、親も子も育ちあおう！」

県南地区

～家庭・学校・地域とともに～



子育てカフェ・ポムポムさんによる参加型の研修会の様子

11月7日(土)茨城県県南生涯学習センターにて研修会を開催しました。取手市、守谷市、利根町の代表者より研修発表をしていただき、各单位PTAや女性ネットワーク委員会の活動の様子や、今まさに子育てをしている皆様からの意見、子どもたちの姿、夢について知ることができました。

そして、子育てカフェ・ポムポムさんによる参加型の研修会を行いました。今の“自分”の好きな所、やりたいこと、頑張っていることを知り、発見することができました。“自分”を大切にしようと思えるとてもよい学びとなりました。

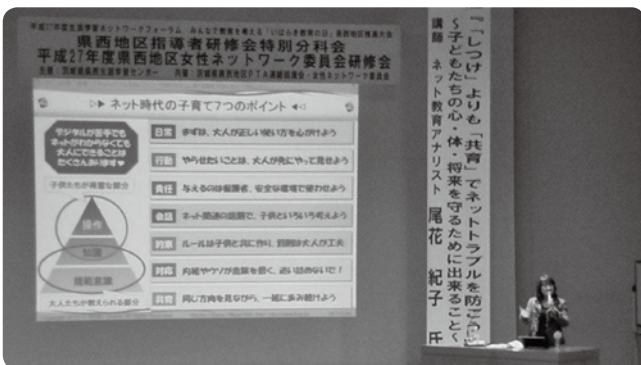
今年度、女性ネットワーク委員の皆様、研修会に来てくださった皆様、ありがとうございました。

(県南地区女性ネットワーク委員長 清水 陽子)

「～PTAからPTCAへ～ 地域との関わりを考えよう！」

県西地区

良好な人間関係を築けない子どもたちが増えている昨今、特にネット依存は、その大きな妨げとなっています。県西地区では、この問題におけるCommunityの役割について、意見交換を行ってきました。



講演をする尾花紀子氏

12月6日(日)の研修会では、ネット教育アナリストの尾花紀子氏から「モラルやマナーなどの『規範意識』を身に付けさせることで、ネットトラブルから身を守ることができる」ことを学びました。その後のグループワークでは、デジタル機器に対する疑問や不安を共有し、尾花氏から適宜アドバイスをいただきました。

～デジタル機器が苦手な大人でも、子どもたちにモラルやマナーは伝えられる～このことに気づけたことは大変有意義でした。

(県西地区女性ネットワーク副委員長 高橋 照美)



各地区の今年度の活動報告

中央地区

今年度の中央地区4ブロック指導者研修会は、各単位PTAより430名を超える多くの方々のご参加をいただき、開催しました。

基調講演では、講師に元埼玉県教育委員長の松居和氏を迎えて「子育てで育まれる親心」をテーマにした講演をいただき「子育てで人間は幸せの物差しを手に入れる」「個性を大切に教育はおかしい」など独特の教育論を展開され、会場の参加者たちは目に涙を浮かべて笑い、また真剣にメモを取る姿も見られました。さらに、その後11の分科会に分かれ、活発な議論や意見が交わされ盛会のうちに終了することができました。ご参加の皆様にとりまして、実りの多い研修会となれば幸いです。

結びに、研修会の開催にあたり、ご尽力いただきました事務局及び担当校並びに役員の皆様に心より感謝申し上げます。



講演をする松居和氏

中央地区PTA連絡協議会会長 北村 雅大

県北地区

県北地区PTA指導者研修会を7月18日（土）に、北茨城市立大津小学校体育館にて220名の参加を得て開催いたしました。

これまでの講師による講演研修会とは違い、北茨城市内の3校（精華小学校、華川小学校、大津小学校）から、それぞれの学校の特色あるPTA活動の発表とそれにおける課題と対応等についてご紹介いただきました。

また、北茨城市内の各校のアトラクション発表として、女性会員によるダンスパフォーマンスや6年生児童によるギター演奏が披露されました。



パネルディスカッションの様子

会員や子どもたちが工夫をして楽しみややりがいを見出しながら、様々な活動に取り組んでいる様子が伺えました。

さらに「しつけの大切さ」と「PTA活動が抱える課題と対応策」についてのパネルディスカッションを実施いたしました。各学校が抱えるPTA活動の課題として、児童数や会員数の減少に伴う活動継続の負担等があげられました。

最後に、今年10月に開催される関ブロ茨城大会のPRビデオを鑑賞し、大会成功に向けて地区会員の一致団結を図り、実り多き研修会となりました。

県北地区PTA連絡協議会会長 後藤 勇人

県東地区

11月8日（日）茨城県鹿行生涯学習センター・茨城県女性プラザ（レイクエコー）にて開催されました。

全体会では、講師に鹿島アントラーズF・Cより宮本貴史氏と城祐万氏を迎えて「子ども像・子どもへの接し方」をテーマにスポーツを通じた子どもへの教育を勉強しました。後半の分科会では、5市の代表校による活動発表や関ブロ茨城大会に関連する発表などを取り入れての内容でした。参加された皆さんからの積極的な質問により、十分に意見交換のできた充実した時間を送れました。

今年の関ブロ茨城大会では、我々県東地区が運営する第6分科会は鹿島アントラーズとともに地域連携をテーマにした分科会を企画しております。そのためにも、今回の研修は、プレ大会のような内容となりよかったですと思います。



講師の宮本貴史氏と城祐万氏(鹿島アントラーズF・C)

県東地区PTA連絡協議会会長 草野 宏



県南地区

県南地区では、今年茨城県で開催する関東ブロック研修大会 第8分科会（国際理解）テーマ「世界」へのメッセージを担当するにあたり、例年実施している指導者研修会に加え、「ランドセル事業」の取り組みを開始しました。この事業は昨年度までつくば市PTA連絡協議会が取り組んでいましたが、この関ブロ大会茨城を機に活動の輪を県南地区に広めたものです。

この事業を推進した目的は、一人でも多くの児童・生徒に「同年代を生きる世界中の子どもたちの環境は決して同じではない」ことを知ってもらうためです。学ぶ場の校舎はなく、教科書もノートも鉛筆さえない。あるのは、学びたいという熱い思いだけ……

そしてもう一つの目的は、親子で世界に目を向け、そして話し合い、国際理解を考えてもらうことです。その中でサブテーマ「わたしたちにできること」として、アフガニスタンへランドセルに想いを託してもらえればと考え活動しています。

県南地区PTA連絡協議会会長 吉岡 高彦



アフガンへの想いが詰まるランドセル

県西地区

県西地区PTA指導者研修会は、各市町P連主管により3つの分科会、女ネット主管の特別分科会、そして全体会と4つの分科会を開催しました。

第1分科会は、NPO法人チャイルドライン支援センター代表理事の神 仁氏を講師に「子どもたちのこころを聴くということ」の演題で講演をいただきました。「聞く」「聴く」「訊く」の意味の違いや沈黙の中にある子どもの気持ちを感じることが大切との話をいただきました。

第2分科会は、腰塚勇人氏の「命の授業」を受講しました。スキーの事故により四肢麻痺となり動けなくなった腰塚氏が、周りにいる「ドリー夢メーカー」により生きる力を与えてもらい、今は命の大切さ尊さを伝えている姿に感動しました。

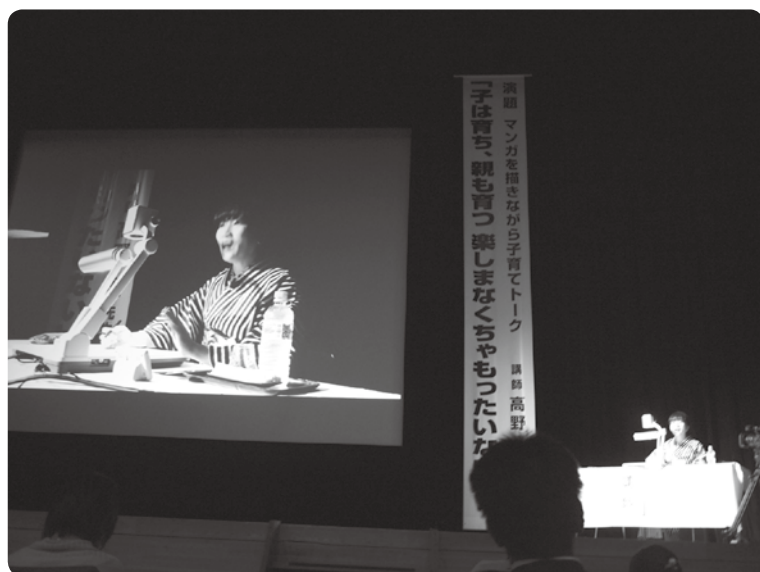
第3分科会は、元プロテニスプレーヤー杉山愛さんのお母様である杉山芙紗子氏から「子供の可能性を伸ばす10の黄金法則」を教えてくださいました。

特別分科会は、ネット教育アナリストの尾花紀子氏さんから「“しつけ”よりも“共育”でネットトラブルを防ごう！」をテーマで「親育ち」「子育ち」の話をいただきました。

そして全体会は「子は育ち、親も育つ楽しまなくちゃもったいない」のテーマで、子育て漫画家の高野優氏の講演をいただきました。子どもの反抗期は「かまってほしい、こっちを向いてほしい」の表現であること。白板上に漫画を描きながらの楽しく感動的でそして涙ぐんでしまう講演でした。

それぞれの研修会、各主管PTAの皆様のご尽力により素晴らしい研修会を開催することができました。本当にありがとうございました。

県西地区PTA連絡協議会会長 斉藤 裕光



講演をする高野優氏



県内 ホット情報 「尾木ママ来校」 県北地区

ベルマーク財団と朝日新聞が主催する「オーサー・ビジット」に「尾木ママ」こと教育評論家の尾木直樹先生に特別事業に来ていただきました。

坂本中学校は、4年前からIBI（いじめ撲滅委員会）として「いじめゼロ！一人ひとりをクリーンな心にしよう！」をスローガンに取り組みを行っており、この熱い思いを色紙に書いて応募し、特別事業が実現しました。

授業内容は、いじめ問題、LINEとの付き合い方、

芸能界の裏話まで様々でした。



生徒の中へ
「朝日新聞社提供」 撮：御堂義乗



尾木ママを囲んで
「朝日新聞社提供」 撮：御堂義乗

いじめ問題では、いじめられている人がいたら「そうなの？」「大変だったね」と声掛けをし、共感することが必要であり「ありのままが大事」と話されました。

笑顔いっぱいの授業であり、大きな笑い声と、真剣な眼差し、うなずく姿であふれていました。

尾木先生、楽しく、熱い授業をありがとうございました。

日立市立坂本中学校PTA会長 熊坂 敏雄

「常総市の豪雨災害についての状況について」

9月10日（木）の未明、若宮戸地区堤防を越水した鬼怒川の水は玉小学校区を襲いました。玉小学校の職員は机の高さまで迫る濁流に本部を石下中学校へ移したものの、水は石下中学校をも流れの渦に巻き込まれました。玉小学校、石下中学校の先生方は周囲を水に囲まれ孤立し、真っ暗な闇の中で夜を明かしました。石下小学校区、豊田小学校区では広範囲にわたり浸水しました。

午後2時過ぎ、三坂地区で堤防が決壊し、三妻小学校区の数軒は家ごと流されてしまいました。大量の水の勢いは止まらず、五箇小学校区、大生小学校区、水海道小学校区へと下流に向かって流れていき、大生小学校、水海道中学校は夜になって浸水しました。



県西P連役員による復旧作業の様子

浸水した4校（玉小、石下中、大生小、水海道中）はライフラインが寸断され、復旧には時間がかかりました。大生小学校に至っては五箇小学校との合同による生活を余儀なくされ、学校に戻って授業が再開されたのは11月30日（金）でした。

学校の完全復旧にはまだまだ時間がかかりますが、児童生徒は支援してくださった皆様への感謝の気持ちを忘れず、明るく前を向って生活しています。

常総市PTA連絡協議会会長 小故島 浩



広報紙作り方研修会

広報紙をグレードアップしてみませんか？

開催日	6月3日(金)	6月7日(火)	6月25日(土)
主催	茨城県PTA連絡協議会		茨城県PTA連絡協議会 広報委員会
開催場所	県南会場 県南生涯学習センター	県西会場 県西生涯学習センター	中央会場 水戸生涯学習センター 水戸市三の丸庁舎
内容	<p>実践向け</p> <p>広報紙の企画・取材, 原稿の書き方, 写真の撮り方, 紙面の割り付け方など事例を取り上げ, 初心者の方でも分かりやすい研修になっています。</p> <p>また, これまでに広報委員を経験している方は, ワンランク上の研修になると思います。</p> <p>講師 坂場 安男 氏 元茨城県新聞教育研究会会長 元茨城県立石崎小学校校長</p>		<p>初心者向け</p> <p>PTA広報紙コンクールで受賞した学校の実践発表や広報紙作りに役立つ講話を取り入れた, 初心者向けの研修になっています。</p> <p>実践発表</p> <p>演題 広報紙の作り方について 講師 住谷 里子 氏 元茨城県新聞教育研究会顧問</p>

◎問い合わせ先 茨城県PTA連絡協議会事務局 電話 029-227-4779 FAX 029-231-3878

平成27年度 書き損じはがき回収結果発表!!

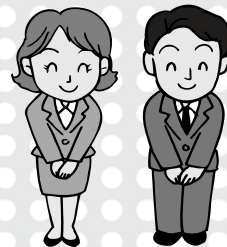
この度, ご協力をいただきました書き損じはがき回収活動の結果が出ました。合計枚数は62,410枚でした。皆さまのご協力に感謝を申し上げます。今年も福祉団体への寄付, また, PTA活動の充実のため有意義に使わせていただきます。

【回収率100%達成】

河内町P連 (252%)
大子町P連 (131%)
潮来市P連 (105%)
桜川市P連 (103%)

※回収率について

書き損じはがき回収枚数 / 市町村のPTA会員数 × 100 (%) にて回収率を算出しております。
回収率が100%達成した市町村P連は, 茨P連定期総会にて表彰されます。



今後, 皆さまより回収しました書き損じはがきを換金した現金50万円は, 佐藤会長が県社会福祉協議会に寄付する予定です。県社会福祉協議会は, 例年とおり県視覚障害者協議会, 交通遺児福祉基金, など4団体に配布します。

皆で参加しよう!!

平成28年度総会は5月29日(日) 笠間市です。

同日開催 茨城県PTA連絡協議会 定期総会
(一社)茨城県PTA安全互助会 定時社員総会

茨P連の総会は, 一人ひとりの意見を今後の活動指針の参考にする大切な意見交換の場です。今年度の第48回日本PTA関東ブロック研究大会茨城大会に向けて, 皆さんの貴重なご意見をお待ちしています。

(一社)茨城県PTA安全互助会は, 安心なPTA活動のために活動してまいりました。今後より一層の充実を図り, 円滑な運営ができるようご審議をお願いいたします。

多くの方のご参加をお待ちしております。

期日: 平成28年5月29日(日)

場所: 笠間市立笠間公民館

笠間市石井 2068-1 TEL:0296-72-2100

○茨P連定期総会 13:00~(12時20分より受付)

○茨P基金事業報告

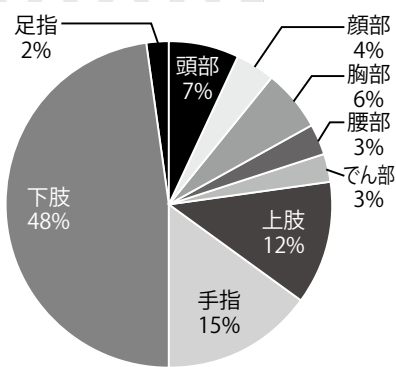
○(一社)茨P安定時社員総会



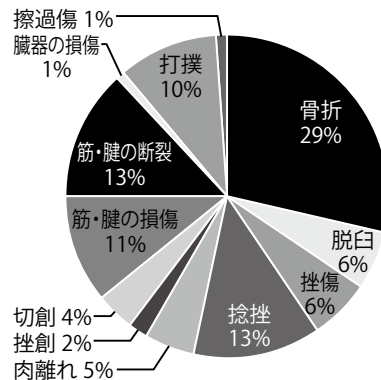
一般社団法人茨城県PTA安全互助会<略称(一社)茨P安>

<今年度の状況>

平成27年4月～平成28年1月時点における事故発生状況は113件で、内訳は以下のとおりです。



負傷した部位は下肢がほぼ半分の48%を占め、次に手指が15%、次いで上肢が12%という状況になっております。



症状では骨折が約1/3の29%を占め、次いで筋・腱の断裂と捻挫が同率で13%、筋・腱の損傷が11%となっています。

なお、香料見舞金の給付件数は140件となっております。

今年度から安全普及啓発活動への助成金交付を開始しております。以下にそれを活用して実施された日立市P連の事業を紹介します。申請につきましてはホームページをご参照ください。

(一社)茨P安・安全普及啓発活動への助成事業

日立市立小・中学校PTA連合会 第3回単P会長会議報告

平成28年2月7日(日)日立シビックセンターにおいて、講師に全国webカウンセリング協議会理事長である安川雅史氏を迎え「子どもたちを取り巻くネット環境～Twitter, LINE, スマホの危険性～」と題して講演会を行いました。日立市内40校から会長・役員・先生などを含め、参加者は約100名。また、昨年各校の会長及び先生方に協力いただき、実態調査のためアンケート調査を行い、当日はその結果を参加者に報告した上で、講演となりました。安川先生の講演は、実際に相談にあたった事例を中心に、生々しいショッキングな話をされ、被害者の子どもだけでなく、その保護者や学校関係者に与える影響が甚大であると理解できました。ネットによって、45年前に学校で起きた醜聞が現代に甦るなど、本当の怖さを分かっていないのはわれわれ大人だと気付かされました。最後に、開催に当たり(一社)茨P安の安全普及啓発活動助成金を使わせていただきました。関係の皆様へ深謝申し上げます。



講演をする安川雅史氏

(副会長・未来委員会委員長 小野 智久)

<茨城県PTA基金管理機構事業の終了について>

茨城県PTA基金は、平成22年の設立から7年目を迎えようとしています。本機構ではこれまで、児童生徒の保護者がなくなった場合の「厚生援助金」、PTA活動等を支援する「教育振興助成金」、そして、平成23年の「東日本大震災」をはじめ、平成24年の竜巻被害、昨年の関東・東北豪雨による水害に対しては「緊急援助金」を給付してきました。

さて、先輩のみなさんが築いてきた茨城県PTA安全互助会の見舞金準備金の資金を有効活用するために設立されました茨城県PTA基金管理機構ですが、今年、設立から7年目を迎え、基金が残り少なくなったことから、PTA基金管理機構の事業は平成28年3月末をもって終了いたします。

これまで、多くのみなさんに活用していただきありがとうございました。

なお、各種事務手続きについても平成28年7月をもって終了する予定ですのでご協力をお願いいたします。また、終了に当たり、これまでの実績の概要をまとめた事例集を発行する予定です。今後のPTA活動の参考にさせていただければ幸いです。

(茨P基金管理機構 代表理事 佐藤 正義)

編集後記

公私共お忙しい中、取材・出筆にご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

「われら茨P連」は、今年度より年2回の発行となりましたが、PTA会員の皆様にとって有意義な情報を今後も掲載していきたいと考えています。これからも、取材等へのご協力をお願いいたします。

(茨P連広報委員長 北村 雅大)